

魅力度向上対策特別委員会記録

<p>1 会議の日時</p>	<p>開 会 午前 9 時 5 5 分 令和 4 年 3 月 1 5 日 閉 会 午前 1 0 時 5 5 分</p>	
<p>2 会議の場所</p>	<p>企画経済委員会室</p>	
<p>3 出席者</p>	<p>委員</p>	<p>委員長 玉 田 和 浩 副委員長 野 村 美 穂 委員 村 下 貴 夫 伊 藤 秀 光 布 俣 正 也 伊 藤 英 生 澄 川 寿 之 平 野 恭 子 平 野 祐 也 小 川 祐 輝 森 益 基</p>
	<p>執行部</p>	<p>別紙配席図のとおり</p>
<p>4 事務局職員</p>	<p>主査 柘 植 健 太 主事 松 本 健 汰</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 中間報告について 2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○玉田和浩委員長

ただいまから、魅力度向上対策特別委員会を開会する。

本委員会は、令和3年度・4年度の2年間を下半期として、調査活動を実施しており、本日は、その下半期の中間報告について協議するため開催した。

それでは、中間報告について協議願う。

文案については、配布してあるので、書記に朗読させる。

（書記朗読）

○玉田和浩委員長

ただいまの中間報告（案）に対し、意見はあるか。

○村下貴夫委員

来年度の委員会視察は、今年度中止となった視察先で実施するのか。

○玉田和浩委員長

視察先の都合もあるので、引き続き検討する。

○玉田和浩委員長

他に意見もないようなので案のとおり中間報告を決定したいと思うが、異議はないか。

（「なし」の声あり）

○玉田和弘委員長

異議がないようなので、中間報告（案）のとおり決定する。

次に、その他として、「デジタルマーケティングについて」執行部から報告をお願いする。

（執行部から説明）

○玉田和浩委員長

説明に対する質疑はあるか。

○伊藤英生委員

海外誘客施策の一環として、ECサイトでお土産を購入できる仕組みはあるのか。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

17事業者の県産品を観光サイトから購入できる仕組みを試みている。伝統文化や匠の技は本県の強みの一つであり、観光とモノの相乗効果が生まれるよう連携してPRしていきたい。

○伊藤英生委員

海外向けの観光デジタルマーケティングに関する来年度予算額は。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

研修なども含め、デジタルマーケティング関係全体で4,600万円程度。

○澄川寿之委員

県有施設に愛称をつけてPRするケースがあるが、検索すると正式名称しか表示されないことがある。

検索結果における正式名称と愛称の整合性をどのように図っているのか。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

検索結果は、ユーザーが閲覧した時には表示されないウェブサイトの裏側に埋め込む情報の影響を受ける。正式名称と愛称の両方を埋め込み、どちらでも検索できるようにすることが有効と考える。

○観光資源活用課関ヶ原古戦場活用推進室長

岐阜関ヶ原古戦場記念館は、既にSEO対策（検索エンジン最適化）により、関ヶ原町に続いて2番目に表示される。「関ヶ原メモリアル」等の愛称もあるが、浸透していないのが現状。県としては、正式名称である「岐阜関ヶ原古戦場記念館」を大々的にPRしていきたい。

○平野祐也委員

検索結果が上位になることで、県内の市町村や事業者と競合することもあるが、県としてSEO対策で目指しているものは何か。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

SEO対策において、県内の市町村や事業者と競合することは一定程度やむを得ないとする。県のウェブサイトは、滞在時間や観光消費額の増加に繋げることを目指しており、県全体の様々な体験プログラムの中から選ぶことができる点が強みである。県内の市町村とも相乗効果を図ることができることから、引き続き相互連携していきたい。

○小川祐輝委員

県のウェブサイトから体験プログラムを購入する人はどの程度いるのか。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

コロナ前は、約4万円の体験プログラムに年間300名近くの申し込みがあった事例もあるが、申し込みが少ないものもある。引き続き、プロモーションに取り組んでいきたい。

○小川祐輝委員

約300名の申し込みは、日本人も含むのか。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

海外からの旅行客のみである。

○小川祐輝委員

インバウンドの回復が見通せない中、国内で体験プログラムを購入する人を増やしていくことも重要である。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

国内向けウェブサイトは、3月7日にリニューアルしたところであり、今後はデジタルマーケティングにも取り組んでいきたい。

○観光誘客推進課長

今年度は国内向けにサステイナブル・ツーリズムに関連する47の体験プログラムを造成し、宿泊予約サイト（OTA）で販売した。来年度はリニューアルしたウェブサイトを活用し、造成した体験プログラムをブラッシュアップしていく予定。

○伊藤秀光委員

インバウンドについては、デジタルマーケティングも重要であるが、現地旅行会社等との人的ネットワークの活用も重要と考えるが如何か。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

これまでネットワークを築き上げてきた現地旅行会社23社と連携し、サステイナブル・ツーリズムとしての付加価値を付けたツアー造成等に取り組んでいる。

○野村美穂副委員長

コロナ禍でのオンラインツアーの実績と今後の取組方針は。

○観光誘客推進課長

今年度はオンラインツアーを約500万円の予算で発酵食品をテーマに実施した。来年度も利用者の声を踏まえ、民間事業者と連携のうえ、ブラッシュアップしながら取り組んでいきたい。

○布俣正也委員

コロナ前の高山市では、外国人旅行客が非常に多かったが、県としてアフターコロナにおける外国人旅行客の受け入れをどう考えるのか。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

県が勝手に取り組むのではなく、地元の声をよく聞きながら目指すべきターゲットをはっきりとさせ、

観光誘客を進めていきたい。

○布俣正也委員

高山市内の宿泊施設は、市外企業による経営が多くなったようだが、施設と市の連携は取れているのか。

○観光企画課長

高山市とは今後は国内外からのバランスの良い誘客が必要となってくるという話をしており、インバウンドの増加に伴い建設された宿泊施設も含め、その誘客に向け、県としても一緒に取り組んでいく。

○平野祐也委員

「seki」というキーワードでの検索が多いようだが何故か。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

「seki」という言葉ありきではなく、「Japan」、「Samurai」、「Katana」などの惹きつけるワードから興味を持った人が流入しているのではないかと考える。

○平野祐也委員

関市が「Samurai」、「Katana」といったイメージを強く持たれているのであれば、受け入れ側の観光地でも活用すれば良いと思うが、県としてはどのように関わるのか。

○観光資源活用課長

県、岐阜市、関市、美濃市、郡上市で構成する長良川流域観光推進協議会では、サステイナブル・ツーリズムの取組みを進めた結果、地元事業者等から「ブランドイメージが上がった」という声が寄せられた。来年度、刀鍛冶を含む体験ツアー等についても支援の仕組みを検討している。

また、戦国・武将観光の目玉となる関の刃物「美濃伝」のブランドを有効活用しながら、関市のみならず県内全域への誘客を図っていく。

○野村美穂副委員長

デジタルマーケティングに加え、アナログの情報調査も引き続き重要である。また、ECサイトで販売されている関の刃物は、海外の有名シェフが使用するほどポテンシャルが高いと聞くので、良さを活かした情報発信の工夫ができるのではないか。

○県産品流通支援課長

単純に売るだけでなく、行政として、モノの裏に隠れているストーリーや地域の豊かさを伝えることが重要である。実際に手に取ることで、モノに対する理解をより深めていただくとともに、それをECサイトでも積極的に売るような仕組みを今取り組んでいる。

○伊藤秀光委員

デジタルマーケティングの人材育成に関し、次年度の取組み予定は。

○観光誘客推進課観光誘客企画監

今年度、様々なメニューで実施してきたが、来年度もメニューを入れ替えながら実施する予定。また、事業者がデジタルマーケティングに必要な取組み等を専門家に委託する際等の補助事業も検討している。

○伊藤秀光委員

丁寧に教えてもらえると助かるという人は多い。引き続き進めていただきたい。

○玉田和浩委員長

質疑も尽きたので、これをもって質疑を終了する。

以上で、本日の議題は終了であるが、この際、何か意見等はあるか。

○観光国際局長

コロナの影響で思うように魅力の発信が行えない中、デジタルマーケティングなど出来ることから積極的に取り組んでいる。1月の県内主要観光地入込客数をみると、コロナ前と比較し約3～4割減少する一方、県ウェブサイトのアクセス数は約4割増加しており、当県を知りたい、訪れたいという期待も

感じているところ。こうしたニーズに応えられるように県としても引き続き魅力づくりやその発信に取り組んでいく。

○玉田和浩委員長

他に意見もないようなので、これをもって本日の委員会を終了する。

なお、本委員会は、特段の事情がない限り、来年度もこのメンバーで開催するので、引き続き、よろしく願います。

魅力度向上対策特別委員会 配席図

令和4年3月15日(火)午前10時～
企画経済委員会室

出入口

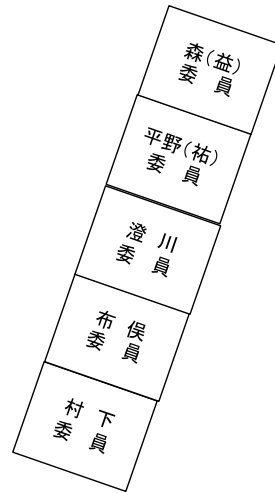
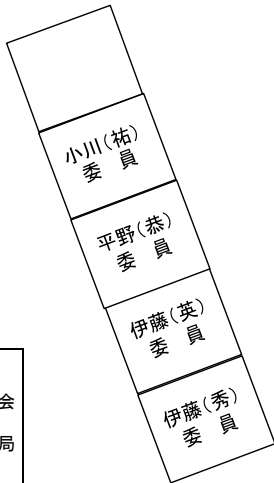
観光誘客推進課 加藤 英彦 監		観光資源活用 推進室長 吉村 竜一		農振興課管理調 整監 副島 洋子		農政課 石垣 要吾 監		里川振興課 桑田 知宣 長
恵みの森づくり推 進課 古沢 弘康 監		観光誘客推進課長 池戸 克成		観光資源活用課長 金武 雅人		都市公園課 ぎふワールド・ ローズガーデン 企画推進室長 小池 貴久		里川振興課長 辻 博之
県産材流通課長兼 東京オリンピック・パ ラリンピック県産材 利用促進対策監 伊藤 修宏		文化伝承課長 河田 哲也		観光企画課長 渡部 達弥		農産品流通支援 課長 浦崎 宏幸		農産園芸課長 大橋 薫子
恵みの森づくり 長屋 秀樹 課長		文化創造課長 青木 伸泰		観光国際局長 矢本 哲也		都市公園課長 清水 浩二		農産物流通課長 高木 賢二

出入口

出入口

傍聴席

議 会
事務局



野 村
副委員長

玉 田
委員長